

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	クロマトレーサーAI R4 インジェクター洗浄液
整理番号	AL-04-02
供給者の会社名称	株式会社シノテスト
住所	〒252-0331神奈川県相模原市南区大野台4-1-93 相模原生産センター
担当部門	薬事部
電話番号	042-753-1142
FAX番号	042-753-3985
製品区分	試薬

### 2. 危険有害性の要約 GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分3
健康有害性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2 生殖毒性 区分2 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(全身毒性 中枢神経系) 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(血液系) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(肝臓 呼吸 器 脾臓) 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か 分類できない。

### GHSラベル要素

#### 絵表示



#### 注意喚起語 危険有害性情報

危険  
引火性液体及び蒸気  
強い眼刺激  
呼吸器への刺激のおそれ  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い  
全身毒性、中枢神経系の障害  
長期にわたる、又は反復ばく露による血液系の障  
害  
長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓、呼吸  
器、脾臓の障害のおそれ

#### 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない  
こと。  
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠  
ざげること。禁煙。  
容器を密閉しておくこと。  
容器を接地すること。アースをとること。  
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用  
すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。

取扱い後はよく眼を洗うこと。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない  
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
 皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された  
 衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又  
 はシャワーで洗うこと。  
 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸し  
 やすい姿勢で休息させること。  
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次  
 に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる  
 場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診  
 断を受けること。  
 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けるこ  
 特別な処置が必要である。  
 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受け  
 ること。  
 火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。  
 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。  
 換気の良い冷所で保管すること。  
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門  
 の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
イソプロピルアルコール	20.619%	CH <sub>3</sub> CH -(OH)CH <sub>3</sub>	(2)-207	2-(8)-319	67-63-0
その他	0.004%				
水	79.377%				7732-18-5

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし。

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休  
 息させること。  
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
 水と石鹼で洗うこと。  
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、  
 手当てを受けること。

眼に入った場合

眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを  
 受けること。  
 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレン  
 ズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。そ  
 の後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。  
 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火剤

散水、噴霧水、アルコール性泡消火剤、粉末消火  
 剤、二酸化炭素、乾燥砂。  
 周辺火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。

<p>使ってはならない消火剤 特有の危険有害性</p>	<p>棒状注水。 消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護 具を着用する。</p>
<p>特有の消火方法</p>	<p>危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却す る。 大火災の場合、無人ホース保持具やモニター付き ノズルを用いて消火する。これが不可能な場合 には、その場所から避難し、燃焼させておく。</p>
<p>消火を行う者の保護</p>	<p>消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着 用する。</p>
<p>6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置</p>	<p>関係者以外は近づけない。  作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護 措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や 吸入を避ける。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器 あるいは漏洩物に触れてはいけない。</p>
<p>環境に対する注意事項  封じ込め及び浄化の方法 及び機材</p>	<p>河川等に排出され、環境へ影響を起こさないよう に注意する。 危険でなければ漏れを止める。  少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あ るいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で 廃棄処理する。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。</p>
<p>二次災害の防止策</p>	
<p>7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い</p>	<p><b>安全取扱注意事項</b> 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止す この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない こと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 換気の良い区域でのみ使用すること。 環境への放出を避けること。</p>
	<p><b>接触回避 衛生対策</b> 『10. 安定性及び反応性』を参照。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない こと。 取扱い後はよく手を洗うこと。</p>
<p>保管</p>	<p><b>安全な保管条件</b> 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管す ること。禁煙。</p>
<p>8. ばく露防止及び保護措置 設備対策</p>	<p>静電気放電に対する予防措置を講ずること。 本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安 全シャワーを設置すること。</p>

保護具

呼吸用保護具	呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	保護手袋を着用すること。
眼の保護具	眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣・保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态  
形状  
色

液体  
液体  
無色、透明  
アルコール臭  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
27.5° C (タグ密閉式)  
データなし

臭い

臭いのしきい(閾)値

pH

融点・凝固点

沸点、初留点及び沸騰範囲

引火点

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

燃焼性(固体、気体)

蒸気圧

蒸気密度

比重(密度)

溶解度

n-オクタノール／水分配  
係数

自然発火温度

分解温度

粘度(粘性率)

動粘性率

データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

危険有害反応可能性

避けるべき条件

混触危険物質

危険有害な分解生成物

情報なし。  
情報なし。  
情報なし。  
情報なし。  
情報なし。  
情報なし。

11. 有害性情報

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性

又は眼刺激性

呼吸器感作性又は皮膚

感作性

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

データなし  
混合物の成分の眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性－区分2の濃度合計が20.619%のため眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性－区分2とデータなし  
データなし  
データなし  
混合物の成分の生殖毒性－区分2の濃度が20.619%のため生殖毒性－区分2とした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

混合物の成分の特定標的臓器毒性(単回ばく露)一区分1(全身毒性)の濃度が20.619%のため特定標的臓器毒性(単回ばく露)一区分1(全身毒性)とした。

混合物の成分の特定標的臓器毒性(単回ばく露)一区分1(中枢神経系)の濃度が20.619%のため特定標的臓器毒性(単回ばく露)一区分1(中枢神経系)とした。

混合物の成分の特定標的臓器毒性(単回ばく露)一区分3(気道刺激性)の濃度が20.619%のため特定標的臓器毒性(単回ばく露)一区分3(気道刺激性)とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

混合物の成分の特定標的臓器毒性(反復ばく露)一区分1(血液系)の濃度が20.619%のため特定標的臓器毒性(反復ばく露)一区分1(血液系)とした。

混合物の成分の特定標的臓器毒性(反復ばく露)一区分2(肝臓)の濃度が20.619%のため特定標的臓器毒性(反復ばく露)一区分2(肝臓)とした。

混合物の成分の特定標的臓器毒性(反復ばく露)一区分2(呼吸器)の濃度が20.619%のため特定標的臓器毒性(反復ばく露)一区分2(呼吸器)とした。

混合物の成分の特定標的臓器毒性(反復ばく露)一区分2(脾臓)の濃度が20.619%のため特定標的臓器毒性(反復ばく露)一区分2(脾臓)とした。

吸引性呼吸器有害性

データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)  
水生環境有害性(長期間)  
生態毒性  
オゾン層への有害性

データなし  
データなし  
情報なし。  
データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物  
汚染容器及び包装

情報なし。  
情報なし。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報  
UN No.  
Proper Shipping Name  
Class  
Sub Risk  
Packing Group

IMOの規定に従う。  
1992  
FLAMMABLE LIQUID, TOXIC, N.O.S.  
3  
6.1  
III

Marine Pollutant

Not Applicable

Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code.  
航空規制情報  
UN No.

Not Applicable  
ICAO/IATAの規定に従う。  
1992

	Proper Shipping Name	FLAMMABLE LIQUID, TOXIC, N.O.S.
	Class	3
	Sub Risk	6.1
	Packing Group	III
国内規制	陸上規制情報	該当しない。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号	1992
	品名	その他の引火性液体(毒性のもの)
	国連分類	3
	副次危険	6.1
	容器等級	III
	海洋汚染物質	非該当
	MARPOL 73/78 附属書II 及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
	国連番号	1992
	品名	その他の引火性液体(毒性のもの)
	国連分類	3
	副次危険等級	6.1 III
緊急時応急措置指針番号		131
15. 適用法令 労働安全衛生法		第2種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号) イソプロピルアルコール 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第 プロピルアルコール 政令番号:494 危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号) その他の引火点0℃以上30℃未満のもの 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第 プロピルアルコール 政令番号:494 20.619% 第4類 アルコール類
消防法		
16. その他の情報 情報なし。		